

糖尿病に注意を 青色ライトで啓発

医療福祉大成田病院

14日の世界糖尿病デーに
合わせ、成田市の国際医療
福祉大学成田病院が啓発カ
ラーの青い光でライトアッ
プされた。来院する多くの



世界糖尿病デーに合わせ、
青色のライトに照らされた
国際医療福祉大学成田病院
成田市

人に糖尿病を意識して健康
に気を付ける契機にしても
らおつと、入り口につなが
る通路を照らした。

糖尿病デーは、糖尿病治
療に欠かせないインスリン
を発見したカナダのバンテ
ィング博士の誕生日。生活
習慣の乱れから日本も含め
た世界中で糖尿病患者が増
加傾向にあり、例年14日前
後に専門医らが予防や治療
の重要性を訴えている。

同病院糖尿病・代謝・内
分泌内科部長の竹本稔主任
教授は、糖尿病は放置して
おくと失明や人工透析、足
の切断など合併症につなが
るリスクがあると指摘。「健
康診断の結果を改めて見て
『血糖値が高くないか』『尿
に糖が下りていないか』な
どを確認してほしい」と早
期治療の重要性を訴えた。